

# 水稻生育速報

令和2年7月27日  
長岡農業普及指導センター

## コシヒカリ定点調査ほの生育状況（7月27日現在、管内7か所平均）

葉色 : 33.3 (SPAD値) = 指標値差 +0.4 = 並  
※前回調査(7/20)より 1.4ポイント低下したが、指標値並  
予想出穂期 : 8月4日 (すでに出穂期10日前を切っている) ※5月10日植えを想定

### 今後の管理

#### 1 2回目の穂肥は確実に！

- (1) 2回目の穂肥を施用していない場合は、確実に施用する。
- (2) 今後の気温上昇により、2回目の穂肥以降に葉色が指標値を下回ると想定される場合は、走り穂が出る頃（出穂3日前）までに追加の穂肥を検討する。

#### 【コシヒカリ追加穂肥のめやす】

	栽培体系	判断時期 葉色のめやす	施肥時期 施肥量	用いる 肥料
分 施	一般栽培 (化学肥料体系)	出穂期3日前の葉色 SPAD値 31以下のとき	出穂期3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	化成 肥料
	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期6日前の葉色 SPAD値 33以下のとき	出穂期6～3日前 窒素成分 1 kg/10 a 以下	有機 100% 肥料
基 肥 一 発	一般栽培 (化学肥料体系)	出穂期までの葉色 SPAD値 32～33を下回 ると予想されるとき	出穂期3日前まで 窒素成分 1 kg/10 a 以下	化成 肥料
	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂10日前頃の葉色 SPAD値 30以下のとき	出穂期10～5日前 窒素成分 2 kg/10 a 以下	有機 100% 肥料

#### 2 病虫害対策

- (1) 葉いもちの発生が各地で確認されている。発生を確認したらただちに防除を行う（コシヒカリBLで少発生の場合は除く）。
- (2) 葉いもちの発生が多い場合は、穂いもちの防除を「出穂直前」及び「穂揃い期」の2回実施する。
- (3) 斑点米カメムシ類の防除は、剤型に応じた適期の薬剤散布を実施する。また、農道・畦畔の除草及び水田内雑草の除去を徹底する。

#### 3 飽水管理

出穂・開花期は、イネが最も水を必要とする時期なので、飽水管理を徹底する。

# 定点調査ほ場生育調査結果(令和2年7月27日現在)

※指標値は5月10日移植を想定。

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	葉色			
				本年 (SPAD)	前年差	指標差	前回(7/20) 変化量
コシヒカリ	長岡市乙吉町	5/13	5/15	31.7	0.9	▲ 0.3	▲ 2.0
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/17	5/22	30.9	1.5	▲ 1.1	▲ 2.2
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/13	5/13	38.6	5.5	5.6	▲ 2.9
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	5/9	32.4	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 4.7
	長岡市寺泊京ヶ入 (寺泊地域)	5/18	5/12	34.5	2.2	1.0	0.4
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/6	5/7	29.1	▲ 0.3	▲ 3.4	2.4
	小千谷市鴻巣	5/14	5/16	35.7	2.7	2.2	▲ 0.6
	コシヒカリ 平均	5/12	5/13	33.3	1.5	0.4	▲ 1.4
	※平場コシ平均	5/11	5/10	31.9	0.2	▲ 1.0	▲ 1.0
	※中山間コシ平均	5/14	5/17	35.1	3.2	2.2	▲ 1.9

※ 平場コシ : 長岡市乙吉・岩田・寺泊京ヶ入・中条北の4か所  
 中山間コシ : 長岡市菅畑・小国町二本柳・小千谷市鴻巣の3か所